

知っていますか？「やさしい日本語」

やさしい日本語とは

- 難しい言葉を言い換えるなど、相手に配慮したわかりやすい日本語のこと
- 1995年の阪神・淡路大震災の際、多くの外国人が被害を受けたことから、外国人にできるだけ早く正しい情報を伝えられるよう考え出され、東日本大震災時に意義が再確認された
- 現在では災害時のみならず、様々な場面で活用が広がっている

例

土足厳禁

地震です。高台に避難してください。

靴を脱いでください。

地震です。高い所に逃げてください。

やさしい日本語を取り巻く環境

- やさしい日本語の都民の認知度は48%
- 在住外国人で日本語ができる人は英語ができる人よりも多い
- 在住外国人はやさしい日本語を理解できる人が多い
- 現在では災害時のみならず、様々な場面で活用が広がっている

『令和6年度やさしい日本語についての都民の意識調査』
(公益財団法人東京都つながり創生財団 2025年)



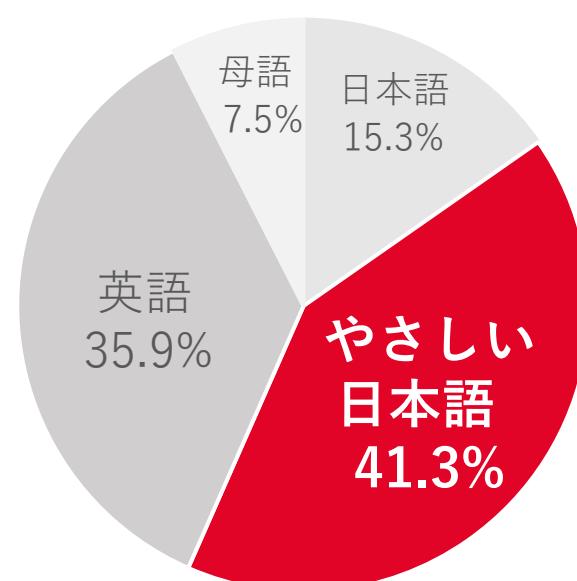
やさしい日本語
イメージキャラクター
「やさかくん」

【在住外国人の言葉に関する状況】

英語ができる人 44%
日本語ができる人 62.6%

『生活のための日本語：全国調査』
(国立国語研究所 2009年)

【どの言語のチラシがあったら読みたいか】



『令和6年度やさしい日本語を活用した在住外国人への
情報伝達に関する調査』
(公益財団法人東京都つながり創生財団 2025年)

やさしい日本語をもっと知るには、
「東京都多文化共生ポータルサイト (TIPS)」
「やさしい日本語」コーナーをご覧ください！



やさしい日本語ブックレット



TIPS for Tokyo Life
Tokyo Intercultural Portal Site
東京都多文化共生ポータルサイト

<https://tabunka.tokyo-tsunagari.or.jp/yasanichi/about.html>



やさしい日本語の活用事例や調査報告書、やさしい日本語を活用する際に役立つツールなどを紹介しています。